



インターネット・ガバナンス・ フォーラム報告

JPNICオープンポリシーミーティング11

2006年12月7日

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

前村 昌紀

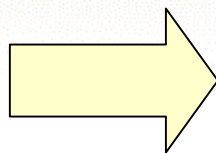
穂坂 俊之



インターネットガバナンスフォーラム(IGF)概要

- 2005年11月のWSISチュニス会合で採択された「チュニスアジェンダ」の中に記され設置が決定。
- インターネットガバナンスの問題に関し、マルチステークホルダー間で政策対話を行う国連管轄のフォーラム

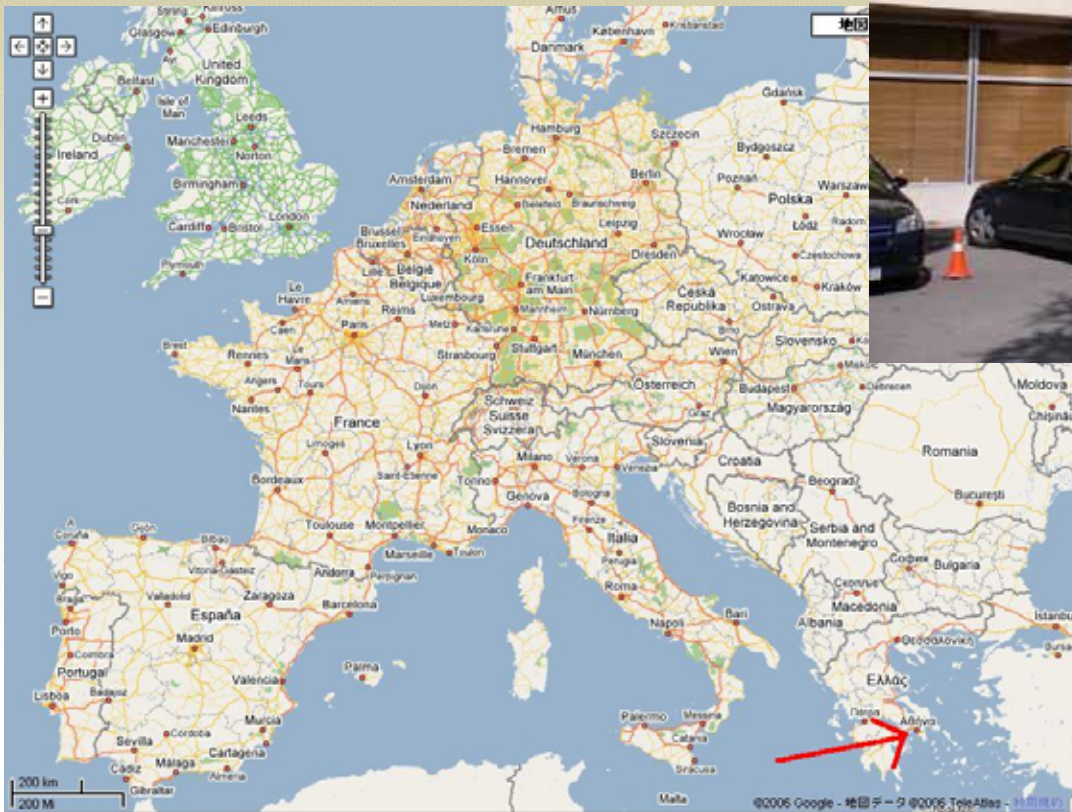
77. IGFは監督機能を持たず、既存の取り決め、仕組み、機関や組織を置き換えることは行わない。逆に、それらと関与し、その能力を活用するものである。IGFは中立で、重複することなく、拘束力のないプロセスに基づいて進められる。インターネットの日常的又は技術的な運用業務には関与しない。



IGFは「対話の場」であって、何かの政策が決定されるわけではない。(WSIS/WGIG)

会合概要

民主主義発祥の地
アテネ(ギリシャ)での開催
2006/10/30 ~ 11/2 の4日間



会場ホテル
DIVANI Apolon Palace



プログラム

10/30(月)	10/31(火)	11/1(水)	11/2(木)
AM Opening Ceremony	AM OPENNESS -表現の自由 -情報の自由な流通	AM DIVERSITY -多言語主義とロー カルコンテンツの促 進	AM Chair's summing up
PM Setting the Scene	PM SECURITY -相互協力を通じた 信頼の醸成	PM ACCESS -インターネット接続 のコストと政策	PM Emerging issues Closing Ceremony

上記のメインセッションの他、合計36のワークショップが並行して開催された。



会場の様子

英・仏・西・中・ア・露 +
ギリシャ語の通訳ブース



メインセッション



最終日に総括があったが、司会者の「個人的感想」が述べられるのみで、宣言の採択等は全く無かった。

パネルディスカッション形式で、参加者にも発言の時間が与えられる。

司会者はTVキャスターが中心。技術者ではない。

DIVERSITYセッション担当の
NHK 今井氏



ワークショップ



数十人規模でテーマを絞ったワークショップを諸団体が開催。

諸団体の取り組みのアピールになりがち。
最終日に簡単な報告がなされたのみ。

ICANNに関するものとしては、「Participation Workshop」及び「root server management」のワークショップがあった。



振り返り・その1

- 学術、政府、民間、市民社会と多様な参加があり、オープンマイクで発言も許され、対話の場としては当初の狙い通り機能した。
- 途上国の参加者からはインターネットへのアクセス自体が整備されていないことに強い不満を表明する場面が少なからずあった。
 - が、元々IGFではそれに対する手当は出来ない。。
- 一部のワークショップで「インターネットの米国支配」に強く反発する意見が出たが、メインのセッションでは現行体制を強く疑問視するような意見は無く、今回のIGFは現行体制に何らかの影響を与えるものとは思えない。
- しかし次回IGFホスト国のブラジルが現行体制の是非を議論する意向がある。



振り返り・その2

- Web充実。 <http://www.intgovforum.org/>
 - 会議速記録, 発表原稿, 事前資料
- 国連的な面
 - 途上国支援に尽きること
 - 普通(non-techie)な方々によるインターネットのあり方の議論と定義
- インターネット的な面
 - マルチステークホルダー対話
- 既存国際会議との比較における戸惑い
 - 宣言の採択をはじめとして成果目標がない
 - 対話のための会場 + 持ち帰って執行
 - お友達プロトコル + ポジションの誇示 + プレゼンス
 - 「外交官モデル」ではなく「劇場モデル」



今後

- 2007年IGF リオデジャネイロ/ブラジル
 - 2007年11月12日-15日
- 2008年IGF - インド
- 2009年IGF - エジプト
- 2010年IGF - リトアニア及びアゼルバイジャンが立候補

- 5年以内(2010年内)に、IGFを継続するかのConsultationを行う予定。